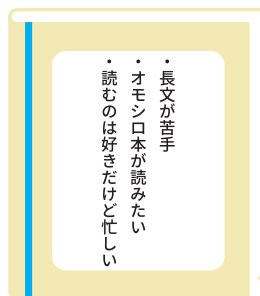
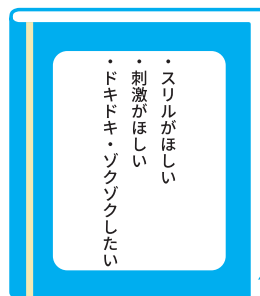


あなたは今、どんな気分ですか？ どんな気持ちになりたいですか？

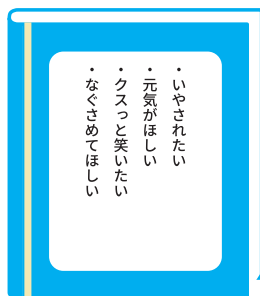
これからご紹介する本が、そんなあなたの気持ちを受けとめてくれます。



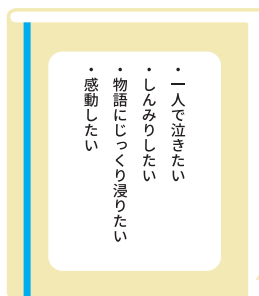
そんな時には
「サクサク楽しい！軽っと本」
20ページへ



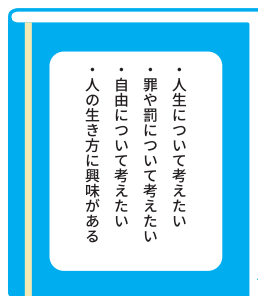
そんな時には
「閲覧注意！ヤバい本」
21ページへ



そんな時には
「心がよるこぶ、ゴクラク本」
22ページへ



そんな時には
「ひとり静かに。しっとり本」
23ページへ



そんな時には
「皆の前で読まないで！じっくり本」
24ページへ

気持ち別 おススメ本

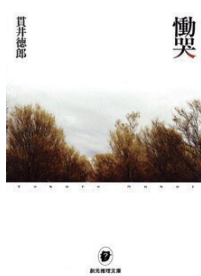


『N』
著者：道尾秀介
集英社 2021年10月

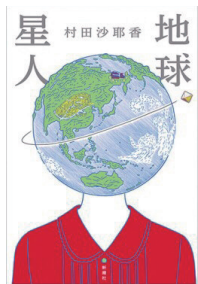


結末は、キミ次第。
6つのミステリーが収録された短編集。読む人によって結末が変わる、どこから読んでも話がつながる、読む順番で世界が変わる、まさにミステリーな一冊。13年前に飲んだ毒薬、突然残酷な言葉をぶつけてきた鳥、道端で死んだ10歳の少女、酒がなければいいのにとつぶやいた少年、生まれて初めて神様を信じた看護師、50年ぶりに起きた殺人事件と消えた犬…。さあキミならどこから読む？

『慟哭』
著者：貫井徳郎
創元推理文庫 1999年3月



『地球星人』
著者：村田紗耶香
新潮文庫 2021年3月



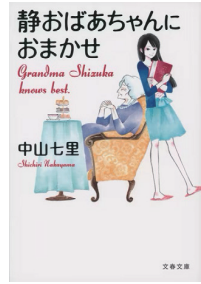
恋をするのは、なんのため？
あなたは、自分のことを「地球星人」だと思っていますか？ 小学生の奈月は、「いとこで恋人」の由宇に結婚を申し込み「夫婦」になる。二人の合言葉は「なにがあってもいきのびること」。なぜ、子ども同士で性行為をしてはいけないのか。なぜ、夫婦は「なかよし」することが普通なのか。なぜ、私たちは自分を「地球星人」だと言い切れるのか。常識が一気に覆される、最恐の一冊……！

『デート・ア・ライブ』
著者：橘公司
KADOKAWA 2011年3月



デートして、デレさせろ!?!
出現するだけで「空間震」で世界を壊してしまう「精霊」。精霊の力を押さえるために考えられた作戦が「デートして精霊をデレさせる」こと。この任務を任された五河士道は世界に平穩を取り戻せるのか!? ギャグにラブコメにアクション。ラノベ界に金字塔を打ち立てた人気シリーズ本の第一巻。読書の入り口としていかが？

『静おばあちゃんにおまかせ』
著者：中山七里
文春文庫 2014年11月



最大の謎は静おばあちゃん!?!
両親を不可解な事故で亡くした円は法律家を目指す大学生。元判事の静おばあちゃんとともに様々な謎を軽やかに解き明かしていく。経験豊富な静おばあちゃんの言葉はどれも深みがある。短編集の最終話ではアツと驚く展開が!?!警官・葛城と円の恋愛模様も要チェック。



『ビストロ三軒亭の謎めく晩餐』
著者：斎藤千輪
角川文庫 2018年9月



美味しく解決、ゲストのお悩み
結婚相手が嘘をついている？ 玄関前に何度も届く謎の贈り物？ 料理人にはむかい続ける俳優に隠されたものとは…？ どんな事情の客も受け入れ、ギャルソンも指名できる三軒茶屋の小さなビストロは、「味は本格派、サービスは規格外」。そして、客の想いも様々あれば、料理人の想いも様々。料理を囲む人々の気持ちに寄り添う、謎解き感動ミステリーを召し上げられ！

『あん』

著者：ドリアン助川
ポプラ文庫 2015年4月



ひとり静かに。
しっとり本

人々をつないだのは、「あん」
小さなどら焼き屋に仕事を求めにきたおばあちゃん。名前は徳江。徳江が作るどら焼きの「あん」が評判となり店はたちまち繁盛するが、徳江の壮絶な過去が明らかとなり……。どら焼きが人と人をつなぐ、感動の物語。

『ひとりずもう』

著者：さくらももこ
集英社文庫 2014年7月



国民的キャラクター生みの親「ここに誕生！」
国民的キャラクター「ちびまる子ちゃん」の生みの親「さくらももこ」がマンガ家としてデビューするまでを描いたエッセイ。性、恋、進路の悩みや大きな夢など様々な疑問や悩みを抱えながら葛藤する姿に、共感すること間違いなし。あのおなじみメンバーも登場！ 笑って泣ける、至極のゴクラク本ここにあり。町田が出てくるシーンにも要注目！

心がよろこぶ、
ゴクラク本



『光』

著者：道尾秀介
光文社文庫 2015年8月



『いちばん初めにあった海』

著者：加納朋子
幻冬舎文庫 2019年4月



人生を動かした一通の手紙

引越しの準備中に千波は一冊の本をみつける。そこには「YUKI」からの未開封の手紙が。一通の手紙をきっかけに、千波の記憶を遡る旅が始まる。徐々に真実が明かされていく、感動のミステリー。

思い出はすべて、まぶしい光

小学4年生の利一と仲間の冒険の日々を描いた物語。野良犬と闘う最強のおばあちゃん、女の生首が浮かぶ湖、友人の転校、誘拐事件……。ふり返れば、すべてが懐かしく輝いて見えてくる。冒険を追体験しながら、自分の思い出と重なってじんわりしちゃうかも……。

『自分の謎』

著者：赤瀬川原平
ちくま文庫 2022年2月



読むたびに発見！

芸術家・作家の赤瀬川原平による「テツガク絵本」。鏡の中にあるのは自分なのか？ 切っても痛くない爪や髪の毛は自分じゃないのだろうか？ 「痛いのは、自分が自分であること」のいちばん簡単な証である「赤瀬川が気になる」「目の問題」「痛い問題」「国境問題」「1つだけの問題」「強い自分 弱い自分」の5つの謎を軽快なタッチの文章とイラストで説いてゆく一冊。

『クロ日記』

著者：沢野ひとし
本の雑誌社 2012年7月



クロ日記
沢野ひとし

癒されたい人、必読

飼犬「クロ」との生活を描いた画文集。犬を飼っている人は、共感のあまり思わずうなずいてしまうかも。犬好きのあなたも、そうじゃないあなたも、のびのび生きるクロにきつと癒される。

『夕焼けポスト』

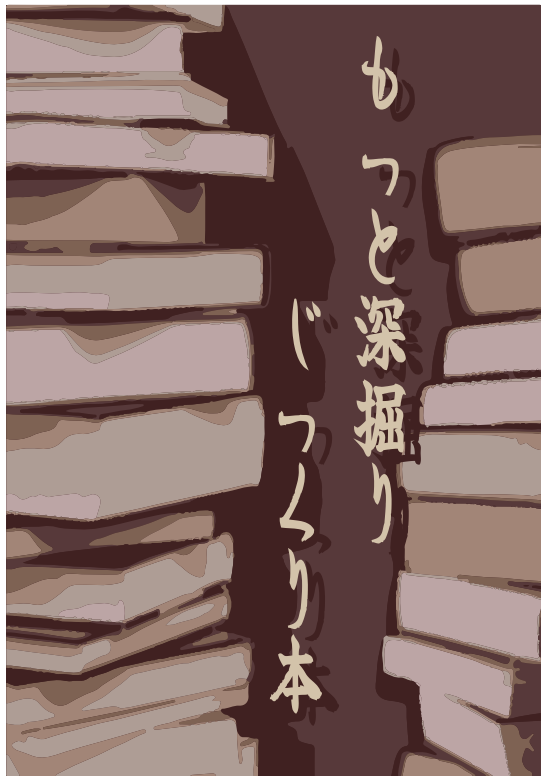
著者：ドリアン助川

ポプラ文庫 2019年10月



物事を見る角度を変える

人には、それぞれ悩みや忘れられない過去がある。過去に起きた出来事に罪悪感を抱く「私」は、その罪を償うため「夕焼けポスト」に悩みを寄せる人々へ返事を書き続ける。自分自身も傷を背負いながら、それぞれの悩みに励ましの言葉をかける「私」。あなたならどんな返事を書く？ この本を読めば、あなたも心の中にある手紙を「夕焼けポスト」に投函したくなること間違いなし。



『さすらい』

著者：赤川次郎

角川文庫 2014年11月



生きてさえいれば――

反政府的立場をとったことにより日本から追放された、人気作家の三宅。その娘・志穂は公安警察に常に見張られていた。そんな志穂のもとに父の死の知らせが届く。父の遺骨を引き取るために異国の地へ向かう志穂。三宅の生死を疑い、共に異国の地へ向かうことになった、政府の要人・中田。様々な壁を乗り越えていく志穂を待ち受けていたものとは……

『手紙』

著者：東野圭吾

文春文庫 2006年10月



家族とは、絆とは。

家族を亡くし、生活を支える兄は、ある日、弟の大学進学費を工面するために強盗に入り意図せず殺人を犯してしまう。この事件を境に「強盗殺人犯の弟」となった直貴は、明るい未来を閉ざされてしまう。社会の偏見に翻弄されてきた直貴が、一心に詫げる兄の姿を目にしたとき何を感じるのか。